



きまりを守って安全に そして、楽しく

梅雨も明け、太陽の光が燦々と降りそそぐ季節となり、「プールでの活動」が本格的に始まりました。6月6日（金）には「プール開き集会」を行い、私からは『油断しない』『あわてない』『楽しむ』の3つのめあてについて話をしました。体育委員会からは、合い言葉「は・あ・と」についての説明や、「誓いの言葉」の発表がありました。子どもたちは、プールでのルールや命を守るために大切なことについて全員で確認し、安全に学習を進めていく決意を新たにしました。

1年生にとっては、小学校で初めてのプールの授業です。「キャッ、キャッ」と楽しそうな声をあげながら、水に親しんでいます。他の学年の子どもたちも、それぞれの発達段階に応じた活動を楽しんでいます。子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができ、とても嬉しく感じています。「プール開き集会」での約束をしっかりと守り、安全面には十分に配慮しながら、今後も充実した水泳学習を進めていきます。



3～6年生は広い大プールでのびのび泳いでます



合い言葉は「は・あ・と」。
はしらない! あばれない! とびこまない!



集会後の感想交流

「プールでのきまりをしっかりと守り、
安全に楽しく学習していきたい」

「楽しい時間を過ごしました」

ー地域の方々との交流ー



柳公民館へ出かけ、地域の方々とふれ合いました

6/11(水)、3年生は「総合的な学習の時間」に、地域についての勉強をしました。この学習では、地域の自然や行事、くらしの様子などを知ること、自分たちが住んでいる地域のよさに気付くことを目指しています。また、調べたことをまとめたり、自分の考えをわかりやすく伝えたりする力も身に付けていきます。今回は、学校の近くにある柳公民館へ出かけ、地域の方々とふれ合いました。歌をうたったり、楽器を演奏したり、ゲームをしたりしながら、みんなで楽しい時間を過ごしました。子どもたちは笑顔いっぱい、地域の方々との交流をとても楽しんでいました。

子供を学びの主体とする授業を目指して



学習構想案をもとに小グループで協議し全体で共有

本校では、毎週水曜日に会議や研修を行っています。研修の内容は多岐にわたりますが、特に授業力を高めるための「授業研究」には多くの時間を充てています。今年度の研究主題は、「児童が『分かった』『できた』を実感し、主体的に学ぶ児童の育成」です。子どもたち自身が問いをもち、課題に主体的に取り組みながら学びを深めていく、いわゆる“子どもを学びの主体とする授業”づくりに取り組み始めています。私たち教職員の授業力向上は、子どもたちの学力はもちろん、さまざまな資質・能力の向上に直結します。今後も全職員が協働して取り組み、互いに切磋琢磨しながら、よりよい教育の実現に努めてまいります。

人権の花運動 取組報告



正門に看板を設置



いただいた種をまき、発芽



掲示板を設置



南側に「ふらわーロード」を作る取組を開始



「命を守る」訓練

ー引き渡し訓練ー

6/6(金)に、大雨を想定した引き渡し訓練を行いました。この訓練は、「子どもだけで下校させるのが危険な状況」において、災害や事件などから子どもの命を守るための大切な取組です。大雨や台風など、自然災害の発生が心配される季節です。今回の訓練を通して、より改善すべき点も見えてきました。今後は、迅速かつ安全に対応できるよう、引き渡し方法やマニュアルの見直しを行ってまいります。

平日の午後というお忙しい時間にもかかわらず、ご協力いただきありがとうございました。

今後とも、安全な学校づくりにご理解とご協力をお願いいたします。



地区別に静かに整列



職員は児童名を確認して伝達後、児童を保護者に引き渡し

校長からの言葉

「自由とは、自分の自由だけでなく、他の人の自由も尊重すること」

ネルソン・マンデラ 氏
(南アフリカ共和国の元大統領)

6月は「人権旬間」として、児童の皆さんと一緒に「人権」について考える取組を行ってきました。

「自由」とは、自分のしたいことをできることですが、まわりの人にも同じように自由があります。だから、自分の気持ちだけでなく、友だちの気持ちや考えも大切にしなければなりません。みんなが気持ちよくすごせるようにすることが、本当の自由を大切にすることです。

自分も、友だちも大切にできる人になりたいですね。